

科 目		必・選	担 当 教 員		学年・学科			単位数	授 業 形 態				
地域と文化Ⅰ（日本） Region & Culture I (Japan)		選	重松正史		5 年生 環境都市工学科			1	半期 週 2 時間				
授業概要		江戸時代の庶民文化を中心に、宗教のありかた、自然観、言葉、中央と地方の関連、文化の担い手と文化展開の「場」、日本の社会的特徴と文化的特徴の関連などに注目しながら考察する。和歌山の文化的伝統を知り考える。西洋文化と日本文化の対照しながら日本文化の特徴を知る。											
到達目標		1 国際的視野を持った技術者を指すために、他の文化と対比しながら日本文化の基本的事柄や特徴を説明できるようになる 2 日本の地域文化の特徴について、具体例をあげて基本的な説明ができる											
評価方法		定期試験（期末1回）50%、授業中に行う課題50%											
教科書等		毎回プリントを配付する											
内 容									学習・教育目標				
第 1 週		4 年生までの授業との関連で、この授業で何を問題にするのかを明らかにする							A				
第 2 週		日本人と宗教、「非宗教的」な日本人、文化を担う非定住（漂泊）の人々の存在を知る							A				
第 3 週		行商人、テキ屋と芸（口上）、「フーテンの寅さん」							A				
第 4 週		歌舞伎はどこから生まれたか？歌舞伎と悪所							A				
第 5 週		「悪所」に集まる人々							A				
第 6 週		役者と浮世絵、浮世絵の美人、浮世絵と漫画							A				
第 7 週		現代のお笑いブームと落語、江戸っ子気質							A				
第 8 週		江戸の食文化							A				
第 9 週		江戸時代の話し言葉と書き言葉（古文書読解に挑む）							A				
第 1 0 週		華岡清洲（日本人の自然観との関わりでその業績を考える。和歌山弁について）							A				
第 1 1 週		日本人の自然観、江戸時代における転換							A				
第 1 2 週		熊野信仰、修験道と日本人の自然観、熊野信仰と「もののけ姫」							A				
第 1 3 週		南方熊楠と自然							A				
第 1 4 週		江戸の街づくり、日本の都市計画、日本の都市の特徴							A				
第 1 5 週		まとめ、日本における地域文化再生の必要性							A				
第 1 6 週													
第 1 7 週													
第 1 8 週													
第 1 9 週													
第 2 0 週													
第 2 1 週													
第 2 2 週													
第 2 3 週													
第 2 4 週													
第 2 5 週													
第 2 6 週													
第 2 7 週													
第 2 8 週													
第 2 9 週													
第 3 0 週													
(特記事項)			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
			◎										

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。）

ガイダンス

地域と文化 I（日本）

第1週

- ・ 様々な社会調査の結果を用いながら、日本社会の特徴が調査結果のどこに表れているのかについて確認する。また1～4年生時の授業（日本史など）で触れてきた日本社会の特徴についても再確認する。
- ・ 半年間の授業で何を考えるのかを予告する
- ・ 日本史を大きく概観し、近世（江戸時代）以降、宗教のあり方が大きく転換したことを知る。
- ・ 宗教という観点から見た時、日本は大きな特徴を持っていることを確認する。

第2週～第3週

- ・ 行商人、大道芸人など漂泊する人々の広範な存在を具体的に知る。そして、彼らがしばしば被差別者であったことの意味を考える。また非定住の人々が文化の重要な担い手であったことについて、様々な実例を示す。

第4週～第6週

- ・ 江戸の庶民文化の事例として歌舞伎・浮世絵・落語を取り上げ、それぞれがどのように成立してきたのかを知る。
- ・ 庶民文化の基盤となった「悪所」についてその様相を知る。
- ・ 「悪所」に成立した文化が、なぜ日本文化を代表するものになったのかを考える。
- ・ 西洋絵画と浮世絵の対比を通して、日本人にとっての「個性」について考える。
- ・ 浮世絵の色遣いなどを具体的にみる。浮世絵の描き方と漫画の関連について知る。

第7週～第9週

- ・ 江戸時代の書き言葉について、古文書を解読しながら具体的に知る。
- ・ 江戸の食文化など江戸の人々の日常生活と文化の関わりを考える。

第10週～第13週

- ・ 日本人の自然観の特徴と、江戸時代における自然観の転換をいくつかの事例を通して考える。
- ・ 華岡清洲について具体的に知る。
- ・ 熊野信仰、修験道のあり方を具体的に知る。熊野信仰や修験道に現れている自然観と江戸時代の自然観、現代人の自然観（たとえば「もののけ姫」）を対比する。
- ・ 熊野が現在注目されている理由を知る。
- ・ 南方熊楠について知り、日本人の自然観と神についての観念の転換についてさらに考える。

第14週

- ・ 街づくりのあり方が日本とヨーロッパでどのように違うのかを具体的に知り、前週までの考察と対照しながらなぜ日本の街が現状のようになっているのかを考える。

第15週

- ・ これまで取り上げた日本文化のあり方や日本社会の特質が外国人の目にどのように映っているのかを知る。
- ・ 諸外国における現在の日本ブームについてその様相を知りながら、日本文化の意義について再考する。
- ・ 日本文化の弱点についても考えながら、全体のまとめを行う。